

飛騨市社会福祉協議会

# 福祉協力校だより

平成26年12月18日発行



## 福祉標語優秀作品

やさしさの

数だけ笑顔が ふえてくる

古川小学校 六年 北平萌菜

ありがとう

それはみんなの あいことば

古川西小学校 五年 森下朋花

あいさつで

笑顔あふれる 通学路

河合小学校 六年 堂前美月

「かたたたき」

がんばる家族に 恩返し

宮川小学校 五年 田下翔瑛

福祉とは

みんな安心 笑顔だよ

神岡小学校 五年 原田葵衣

「上手だね」

心の中の花が かがやく

山之村小学校 三年 石橋 希

## 福祉協力校とは？

飛騨市社会福祉協議会では、次世代の担い手である小学校・中学校・高等学校の児童・生徒がボランティア活動や、身近かな福祉活動の中で、社会奉仕や社会連帯の精神を養い、家庭や地域の福祉の心を深めるような教育の実践を行うこと目的として、福祉協力校の指定をしています。当協議会では、福祉協力校へ助成金を交付して活動の支援を行うと共に、下記のような活動を学校と連携を取りながら実施しています。

## 具体的な活動は？

### 1 広報・啓発活動

- ❖ 講演会や展示会等の開催
- ❖ 各学校の福祉活動の紹介
- ❖ 体験作文、学校新聞等の作成や配布
- ❖ 福祉意見発表
- ❖ 福祉標語の募集

### 2 調査・研究活動

- ❖ 地域における福祉実態調査

### 3 体験学習を目的とした実践活動

- ❖ 社会福祉体験活動  
(手話、点字、車いす体験など)

### 4 地域一般での訪問・交流体験活動

- ❖ 高齢者施設等への訪問、交流活動
- ❖ 暑中見舞い、年賀状等の送付
- ❖ 給食サービスボランティア活動
- ❖ 各種募金活動
- ❖ ベルマーク・エコキャップ収集活動



## 【福祉協力校一覧】

飛騨市立山之村小中学校・飛騨市立古川小学校・飛騨市立古川西小学校  
 飛騨市立河合小学校・飛騨市立宮川小学校・飛騨市立神岡小学校  
 飛騨市立古川中学校・飛騨市立神岡中学校  
 岐阜県立吉城高等学校・岐阜県立飛騨神岡高等学校



## 出前講座

車いす体験や高齢者疑似体験、障がい者に関する疑似体験、福祉学習に必要なものを貸し出したり、職員が出向いてアドバイスします。授業やクラブ活動、先生や企業、地域での学習会等、お気軽にご相談ください。



### 飛騨市社会福祉協議会 出前講座等メニュー一覧

テーマ	内容	対象範囲	時間
社会福祉協議会	社会福祉協議会が、「どんな団体で」「どんな事業をやっているのか」等をお話しします。	一般	30分
地域福祉活動計画	飛騨市が策定している地域活動計画に合わせて、社会福祉協議会が策定している地域福祉活動計画の概要について、お話しします。	一般	30分
成年後見制度・日常生活自立支援事業	どのような事業なのかを説明します。	一般	30分
災害図上訓練	地震や風水害が起きた時、自宅や周辺地域でどのような被害が発生するかを平面図や地図上で想定し、必要な対応策を具体的に考えていきます。	小学生 高学年以上	60分
ボランティア活動	ボランティアとはどんなことをいうのか、又どんな活動があるのかをお話しします。	小学生 高学年以上	30分
高齢者疑似体験	高齢者疑似体験セットの器具を体につけて、年齢を重ねると体の状態がどのように変わるのか、どんな気持ちになるのかを体験していただきます。	小学生 高学年以上	60分
車いす体験	実際に車いすに乗ったり、人が乗っている車いすを押すことにより、どんな時にどんなことが大変なのか、どんな気持ちになるのかを体験していただきます。	小学生 高学年以上	60分
視覚及び聴覚障がい体験	体験用のゴーグルやメガネ、耳あてなどを使って、どのような状態になるのか、どんな気持ちになるのかを体験していただきます。	小学生 高学年以上	30分
発達障がい疑似体験	発達障がいがある人が、どんなふうに見えたり、感じたりしているか、手作りの道具を使ってお話しします。	小学生 高学年以上	60分
障がいがある方のお話	目が見えない方等に、障がいがあるようになった理由や普段の生活等についてお話をさせていただきます。 *外部の方に依頼します。	小学生 高学年以上	60分
チェアスキー支援	身体に障がいがあり一人ではスキーができない方に、特殊なスキーを使用し介助をすることにより、スキーを楽しんでいただけます。	小中学生	60分
給食サービスボランティア	夏休みに、給食サービスにたずさわっている調理と配達ボランティアの体験をしていただきます。	小学生 高学年以上	3時間
募金ボランティア	社会福祉協議会が実施するイベント等において、来場者に募金の呼びかけ等を行います。	小学生以上	60分

※標準所要時間は、おおよその目安です。参加人数等により調整させていただきます。

この他に、社会福祉協議会で行っている各種事業の詳細につきましても、説明させていただくことができます。

お問い合わせ

飛騨市社会福祉協議会

TEL 0577-73-3214



飛騨市社会福祉協議会では、11月9日(日)に飛騨市文化交流センターにおいて、飛騨市と共催で「飛騨市健康と福祉のつどい」を開催しました。会場では、市内中学生の意見発表や市内小学生の福祉標語の掲示を行い、市民の皆さんに健康の喜びと、地域福祉の重要性について、関心を深めていただくことができました。

中学生の意見発表では、飛騨市の将来を担う若者の学校や家庭、将来についての考えに、来場者された皆さまは真剣に耳を傾けてみえました。



## ギブアンド…?!

古川中学校三年

望月こもも



私の住む町古川町は、とてもきれいな町です。周りを山に囲まれ、町の中央を鯉が泳ぐ瀬戸川が流れています。まもなく紅葉が始まり一面真っ白の雪景色…。

でも、時々通学路や買い物の途中でお菓子のゴミ、ペットボトル、ビニール袋などのゴミを見つけることがあります。そんなとき、私はそのゴミを捨てることを心がけています。私がそうするようになったきっかけは祖父にあります。私

の祖父は「花菖蒲の会」の会長を務めており、私は小学生の時に一度だけその会の手伝いにいったことがあります。夏休み中ですごく暑かったことと祖父と私以外に誰もいなかったことを覚えています。

手伝いといっても、祖父が花の世話をしている間、私は近くでただ遊んでいるだけでした。私の祖父に「二人だけなのに何でそんなに頑張るの?」「これってお金ももらえないの。」

なんて、何ともくだらない質問をしました。お金なんてもらえないし、花菖蒲を育てたところで町のほとんどの人は私の祖父がやっているなんて思わないでしょう。誰かに感謝の言葉を言ってもらうことも少ないと思います。

す。なのに、なぜ祖父は、あんな暑い中で黙々と一生懸命作業していたのでしょうか?その理由は近所の道路をみてわかりました。その道路の脇には毎年サルビアの花が咲いています。枯れたらちゃんと処分され、しかし、毎年必ず赤い花が咲いているところを見るとだれかがボランティアで育ててくれていることがわかります。

私は未だに誰が育ててくれているのか知らないし、「そだててくれてありがとう。」といったこともありません。けれど通学の途中に赤い花が目にはいると、だれが育ててくれているのかと気になります。また、学校帰りのもやもやも吹き飛ばす気持ちのほのぼのとしてきます。そのことに気づいてから、「祖父は古川の中の誰かを喜ばせたくて花菖蒲を育てているのだ。」とわかりました。自分たちが育てた花を老人ホームや保育園に寄付することで誰かがほっとしたり、嬉しい気持ちになったりするのを手伝ったのです。

それまで私は人に見返りを求める人でした。ギブアンドテイクはそういうことだと思っていたのです。ですが、見返りを求めないで一生懸命働く祖父がとても格好良く思えるようになってきました。と、同時にわたしがいいつもサルビアを見て温かい気持ちになるように町の人にも気持ちよくなって欲しいと思うようになったのです。

元々古川の町はきれいなので多くの人はゴミを拾っている人がいるなんてことは思わないでしょう。仮に思っても、誰がしているのか興味を持つたり、特別に感謝したりすることはないと、思います。でも、美しい町を歩くことは気分がいいことだし、気持ちよく町を歩いてくれたらうれしいなと今のわたしは思います。そしてそう言うわたしが誰かが植えてくれた花を見てとくに感謝もせず、しかし、ホッと温かい気持ちになって毎日を過ごしています。そう考えるとボランティアとは不思議なものだと思います。ギブアンドテイクと言いながらギブの

行動を取ると実はテイクの立場に立っていることに気づいたりする。私たちは日々、色々な人からのギブを受け取って生活しているのです。

今まで意識していなかった道路脇の花壇の花植え・草取り・川掃除、ラジオ体操後の草むしり、図書館での読み聞かせ、体育祭への招待…、

今、自分がギブとテイクを考えたとき、

「自分たちがこれまでどんなに多くのギブを受け取ってきたのか」とか

と気づきます。これから先もわたしはきっと今以上に顔も知らない人からたくさん温かい気持ちを受け取るでしょう。

同時に、わたしはこれから自分が受け取るだけでなく自分からギブできる人になることを目標に生活していきたいです。

まずは、学校で行っているキヤップ集めや通学路のゴミ拾い、ありがとうの花活動に積極的に取り組むことから始めていきたいと思います。



## わたしの夢

古川中学校三年

黒淵 美遥

「みかんの花がさいている。思い出の道 丘の道。遙に見える青い海。汽笛がポーとなりました。」

私は中学生になって合唱部に入りました。その部活動の中で老人施設の方に歌を聴いてもらおうと練習しているときにはじめてこの歌を知りました。

きれいな曲だとは思いましたが、あまり感情も込めず音を取ることで精一杯で緊張しながら歌いました。それなのに、施設の方はとてもすてきな笑

顔を楽しくそうに聞いて下さったのです。また、一緒に口ずさんで下さったり、指揮を振って下さった方まで見えたのです。そのときわたしは自分のことしか考えていなかったと、とても恥ずかしく思いました。

わたしの家は両親が共働きなので、学校から帰ったときいつも祖父父母が迎えてくれました。だからわたしは祖父父母が大好きだったので自然とお年寄りとふれあえる仕事がしたいと考えるようになりました。

そんなわたしです。で、中学に入ったときから福祉活動には積極的に参加するようにしてきました。一年生の時には看護体験。二年生の職場体験では町内の老人施設へ行き、たくさんの方を学ばせていただきました。

また、合唱部で二年間続けた訪問でも元気を出していただきたくて、ステージではなく



た。わたしはお世話をしながらの仕事だというような気持ちで行きました。それで二日目は気持ちだけが空回りして、して欲しいと思ってみえることがわからなくてとても不機嫌な顔をされたり窮屈な様子だったりしてうまくできませんでした。働いてみえる方の仕事をよく見ると、自分の都合で世話をしたり、早く終わらせようと進めるのではなく、お年寄りの方を気遣い大切にしてみることが伝わってきました。だからお互いにとっても信頼し合ってみえることが伝わってきて、表情が穏やかだったり、輝いていたりしました。二日目は二日目の反省からお年寄りに聞いたり職員の方にアドバイスをもらったりして、明るい大きな声であいさつすることを心がけました。たくさんの方にあいさつを返していただいて、とてもうれしくなりました。

また、合唱部で二年間続けた訪問でも元気を出していただきたくて、ステージではなく

隣に行つて一緒に歌う時間を作ったり、元気の出るダンスを見ていただいたり色々なアイデアを出すことができるようになりました。

笑顔を見せて下さる方や一生懸命拍手をして下さる方、「また来てな。」と言つて下さる方々にたくさんの方の勇気をもらっています。

これまでお年寄りが好きだからと漠然と描いていた夢ですが、このような体験を通して、人と人とのつながりを大切にしたい。いつも笑顔でまわりを元気にできる介護士になりたいという思いを強くしています。

わたしはいま天生に住んでいます。買いたいものや学校の通学には不便だけれど、わたしはわたしを育ててくれた自然豊かで、いつも声をかけてくれたり心配してくれたたりした近所のお年寄りがいる天生が大好きです。将来介護福祉士の資格を取つたら絶対に飛騨市に戻ってきて地元で働きたいと思っています。それまでみんな元気でいて下さい。

また、合唱部で二年間続けた訪問でも元気を出していただきたくて、ステージではなく



## 友達から学んだ「みんな同じ」

神岡中学校三年

坂下 美侑



越してきた時に知り合いました。最初は、その子について「何で?」「どうして」とわからないことばかりで、どう接していいかわからず、とまどいました。そんな私に母が、友達もっているハンディキャップについて話してくれたことや、彼女の

家族、周りの人が自然に接しているのを見て、とまどいはなくなり、すぐに仲良くなることができました。覚えればかなりの指文字ではじめて自己紹介したことを今でも覚えています。

「障がいを持っているから何もできない。」私はそうとは思いません。たとえ視力や聴力、運動面など生まれつきの障がいがあっても、それはハンディキャップがあるということであって、その人にはできることがあります。健康な体に恵まれて生まれた私にとってできることと何ら変わりはありません。

私には障がいをもった友達がいいます。小さい頃、私が引

を、健常者、障がい者と分けてとらえるなんてことは考えてもみないことで、二人はごくあたりまえの「私とあなた」でした。

この、彼女とのあたりまえの関係が、現在の私の「障がいをもっている人」への感じ方や見方を作っていると思います。

どんなに重い障がいをもっていても、その人はその人であり、私はわたしです。「障がいをもっているから」と、かわることをためらうのではなく、ふれあってみて、他の友達と同じ「私とあなた」の関係をつくるのが大切です。

友達は私によくこう言います。「私にもやらせて」と。だから、もつともだめなことは、かわいそうだから、何もできないからと、何でもやってあげたり、手伝ったりすることです。そう思う理由は、何でも手伝うことによつて、本当に、本当に何もできなくなってしまうかもしれないからです。周りの人が親切にやっていることであっても、本当はその人ができるかもしれないです。できないと決めつけて手を

さしよめることは、できる可能性をゼロにすることもかもしれないのです。また、「かわいそう」とか「何もできない」と思うこと自体が、決めつけてしまっていて差別的だと思えます。もし、自分が逆の立場だったら、そのようなことを言われたり、思われたりするのはとても嫌です。みなさんはどうですか。きっと気分がいいものではないでしょう。

障がいをもった友達もたまたま健常者として生まれた私も、朝起きて、ご飯を食べて、学校に行つて、勉強して、眠つて、やっぱり変わります。

障がいを持っている人は五人に一人と言われているそうです。平成二十三年には、すべての国民が障がいの有無にかかわらず尊重される共生社会の実現

を目指して、「障害者基本法」が改正されたこと。そして、平成二十五年には、障がいを理由とする差別の解消の推進に関する「障害者差別解消法」が成立したことが調べてわかりました。このような法律ができていくということは、健常者と障がい者の間に、差別的な考えがあるということでは

これまで友達との関係のなかで実感している「障がいをもっている」と同じ、みんなに広げたり、つなげたりすることを「私にできること」としてこれからも心がけます。そして、友達とのきずなをこれからも大切に「ずっと 仲間」この先の私たちにつないでいきたいと思えます。



## 周りの人に支えられて

山之村中学校三年

沖田 裕太

僕には自動車の整備士になりたいという目標があります。

小さい頃はミニカーが大好きでよく部屋の中でミニカーを走



不足していたので、体力や筋力をつけるためのト

改めて考えてみると、これまでもそんな場面はありまし

一人でも家を建てられるそうです。普段仕事を済ませて家に帰

す。

らせて遊んでいました。小学生、中学生と大きくなるにつれ、だんだんと本物の自動車に興味をもつようになり、いつしか「大人になったら自動車に携わる仕事がいい」と思うようになりました。

そして今年、僕は受験生となりました。自分の進路を選択するための岐路に立っています。生まれて初めて自分で自分の将来を決める事への不安があります。学校で進路の勉強をしますが「もし自分の選択が間違っていたら…」そう考えると、何となくそわそわとして落ち着かない気持ちになります。

山之内村中学校という小さな学校出身でもこんな仕事ができるんだということを、先輩に知ってもらって、少しでも自信と将来に夢をもってもらいたかったから。」と話してくれました。僕はその話を聞いてはつとしま

た。先日行われただいこんマラソンに向けて、持久力をつけるためランニングをしているとわざわざ車を止め、「頑張れ！」と応援してくれたり、通学のためバスに乗っていると運転手さんやお年寄りの方々が「頑張れなさい。」などと声を掛けたりして下さいます。そんな地域の方々の声に励まされながら、きつい練習に向かうことで、僕は自分を成長させることができ

どと言っている祖父ですが、仕事の連絡が入ると苦しそうな顔一つ見せず、仕事に出かけます。よく考えてみると祖父の休みの日は年に十日程しかありません。そんな祖父を地域の方々は頼りにしてくれてい

に思います。

今年の夏、僕の夢は整備士

から「人から頼りにされる整備士」に変わりました。僕も

祖父のように人から頼りにされるような仕事をしていきたい

と思ったからです。高校進学ま

であとわずか。まだまだ不安

もありますが、周りの人々の

支えを力にし、自分で自分の

進路を決めていきます。そして

将来、今度は自分が山之村に

住む後輩達に夢をもってもらえ

るように人から信頼される整備士を目指して頑張ってい

きます。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

# 第9回 子どもぞうきんコンテスト



11月9日、飛騨市文化交流センターにおいて「第9回子どもぞうきんコンテスト」の表彰式が行われました。このコンテストは「もったいない」という気持ちと手仕事の大切さを子どもたちに感じてほしいという思いから開催されており、小中高校生の児童・生徒が、アイデアと使いやすさを考えてぞうきんを作成しました。

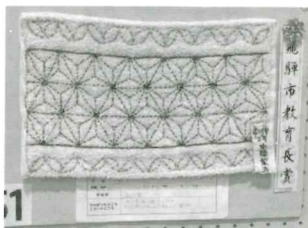
応募されたぞうきんは、飛騨市社会福祉協議会を始め、高山市社会福祉協議会、保育園、福祉施設に寄贈していただき、給食サービス等のボランティア活動でも使用させていただきます。なお、各賞を受賞された皆さまは下記のとおりです。



飛騨市長賞 塚本奈緒

飛騨市文化協会賞 志村奏穂

優秀賞小学生低学年の部 柚原咲弥



飛騨市教育長賞 中腰梨乃

飛騨市教育長賞 橋本みなみ

優秀賞中学生の部 中井彩未

優秀賞小学生高学年の部 森田美咲



飛騨市社会福祉協議会長賞 中村奈緒

アイデア賞 栗本遥生  
特別賞 石倉希桜(糸魚川小学校)  
木島麻央(糸魚川小学校)

優秀賞高校生の部 郷田雪華